

樋口良子(ヒグチ リョウコ)
平成19年度2次隊 看護師 トンガ王国

トンガ王国について

南大洋州にある唯一の王国であるトンガは、日付変更線のすぐ西に位置し、世界で一番早く朝を迎える国です。大小約170の島々からなり、面積700k m²、人口約10万人の小さな国です。気候は雨期(11~4月)乾期(5~10月)の2つ。敬虔なキリスト教徒が多く、毎週日曜日は安息日のため働くのは法律で禁止されているほど。(一部許可を受けたお店・人は働いています、警察官、病院関係者など)。毎週日曜日は、おめかして家族で教会に出かけます。私も時々トンガ人家族と教会に出かけたり、ウム(トンガの伝統蒸し料理)と一緒に食べたり、時には準備も手伝ったりして、のんびり週末を過ごしています。

活動や生活について

本島唯一、トンガの最高医療機関である国立バイオラ病院ICU集中治療室で、トンガ人ICU看護師約10名、手術室看護師約20名と一緒に働いています。私の活動目標はICU看護師の看護サービス(知識・技術の向上)が主です。しかし、日本と中国(たくさんの移民がトンガに多数在住しているため、よく間違われる)の区別もつかないスタッフ達。また年功序列、日本より厳しい縦社会、ICU 看護師のほとんどは私より一回り以上年上で10年以上の看護に携わってきたスタッフ達が、トンガの看護や言葉を知らない、いきなり働きに来た私の言うことなんて聞く耳を持つはずがありませんでした。なので、活動目標を達成するために、まずはスタッフと信頼関係を築くこと、トンガの看護・医療をまず知ることから始めました。しかし、それは容易なことではなく、言語(会話はトンガ語、カルテは英語)や価値観の違いに戸惑うことばかりでした。言葉が達者でない私に「言葉(トンガ語+英語、トンガに唯一ある看護学校はすべて英語教育なので看護師たちは基本英語が出来ます)が出来ない私に、トンガに何しにきたの? 研修?」「指導? 冗談でしょ?」と笑われたこともありました。ですが、根気強く話しかけ知らないことは教えてもらえるよう何度もお願いしたりと、出来ることから少しずつ、そして続けました。また勤務時間は必ず守り、患者さんを優先して働くように努めました。すると、日本人は働きものだ



トンガで一番大きい野菜マーケット。芋やココナッツ、バナナなどが所狭しと並びます。



家族でウム(トンガの伝統蒸し料理)の準備をしています。タロイモの葉っぱにココナッツミルクで和えた羊肉やコーンビーフと一緒に芋を蒸します。

と少しずつスタッフたちも私に話しかけてくれる回数が増え、時には冗談を言っては笑いあえるようになりました。そして活動も残り約半年という今年2月、一緒に働いていた麻酔科医の一人が突然亡くなりました。享年33歳。あまりにも突然な別れでした。トンガ人らしくなく仕事熱心で、とてもフレンドリーな彼は、私の理解者の1人でした。うそのような現実を目を背けたくて、スタッフと一緒に毎日号泣してしまいました。だけど、悲しみを分かち合える仲間がいました。トンガに来て、改めて生と死について向き合い、考えさせられた出来事。彼との別れを嘆くより、出会えたことに感謝して生きたい。そう思えるほど素敵な人でした。そして他のスタッフも同じ思いでした。彼は私と病院スタッフの絆を更に深めてくれるきっかけを私にプレゼントしてくれたんだと思っています。



カイポーラ(トンガでの食事会)の様子。冠婚葬祭や教会でのイベントなどで行なわれるもので、たくさんの料理が所狭しと並びます。

生活のほうは、私は一軒家の2階、一階にトンガ人家族(玄関は別)に住んでいます。大家さん家族は、週末の教会や冠婚葬祭のイベントと一緒に出かけたり、一緒に食事したり、散歩したり、大家さんの孫たちと一緒に遊んだり、子ども夫婦には愚痴聞いてもらったりと本当の家族のように接してくれます。その中でトンガ文化・料理・トンガ語などを教えてもらったり、日本料理差し入れしたりとトンガ生活を楽しんでいます！トンガでは知らない人にも、「元気?」「暑いね」などとすれ違う人に気軽に挨拶します。私も仕事の行き帰りなどは声をかけながら歩いています。よく中国人に間違われますが、日本人だと分かると親日な国なので、陽気に話しかけてもらえ、すぐに知り合いになれます。人と人の距離が日本よりとても近くて居心地がいいんです。

カウンターパート(活動を支えてくれる人で、仕事の相談相手)であるICU看護師長は、JICA ボランティア理解があり、いつもわたしのことを気にしてくれ、看護サービス向上に関心のある有能な看護師です。彼女は6人の子ども、3人の孫がいて自宅にお邪魔すると、職場とは違う母親・妻の顔になり見ている面白いです。語学研修に行ったホームステイ家族宅へ週末遊びに行ったり、携帯電話でやり取りとしたりと毎日忙しく楽しいトンガ生活を満喫しています！



新小児科・内科病棟建設のセレモニーにて同僚たちと記念撮影。ピンクの服はトンガ看護師の制服です。左男性は麻酔科医。



ICU (集中治療室)看護師とオーストラリアからの臨床工学技師ボランティアとICUにて記念撮影。